

# こんにちは No.52 魚沼市議会 です



定例会・市長行政報告 ..... 2ページ  
補正予算・議案賛否の状況 ..... 3ページ  
一般質問 ..... 4～10ページ  
議会報告会 ..... 11ページ  
常任・特別委員会報告 ..... 12～14ページ  
議会の活動を報告します ..... 15ページ  
市民の声・あとがき ..... 16ページ

〈発行責任者 議長 浅井 守雄〉 広報編集特別委員長 佐藤 敏雄 副委員長 富永 三千敏  
委員 大平 恭児 志田 貢 遠藤 徳一 高野 甲子雄

# 水の郷工業団地 第2期造成工事補正予算 可決

## 第2回定例会報告

平成28年第2回（6月）定例会が、6月14日から7月1日までの18日間の会期で開かれました。初日に、議長受付事件、各委員会報告、平成27年度一般会計繰り越しについて2件、病院事業会計などの2件の繰り越し、深雪の里など2件の経営状況などについて報告を受けました。

また、税条例の一部改正など2件の条例改正の専決処分の承認、一般会計補正予算案、工業団地造成事業特別会計補正予算案を可決しました。

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出についての請願、魚沼市自然環境保全条例など8件の条例の制定や一部改正案、ロータリ除雪車の取得、市道の認定などを常任委員会付託とし、人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

6月16、17日には14人の議員から市政全般にわたる一般質問が行われました。

30日には庁舎再編整備特別委員会が過半数の委員の要求によって招集され、質疑を行いました。

7月1日の最終日には各常任委員会付託案件の採決が行われ、いずれの案件も可決されました。

大平栄治議員に対する懲罰動議については反対多数で否決されました。また、議員発議で提案された「魚沼市の特性を考慮し、身の丈に合った新庁舎建設を求める決議」については賛成多数で可決されました。

\*議案賛否の状況は3ページをご覧ください。

## 主な市長行政報告

### 〈6月14日分〉

- 魚沼地域定住自立圏構想の進行状況について  
民間委員による共生ビジョン懇談会を5月に立ち上げ、現在、具体的な検討を進めており、10月までに結論を出す予定である。
- ふるさと寄附金について  
今年度から感謝品の品目数を大幅に増やすとともに、インターネットサイトから手続きができるようになったことにより、5月末までに1,640件、3,870万1,000円と、前年度と比較して大幅な伸びとなっている。
- 住民監査請求の監査結果について  
平成28年4月4日提出された「斎場廃棄物処理費用公金支出」に係る住民監査請求は、監査委員から5月26日付けで請求に理由がないものと認め棄却した旨の通知があった。
- 訴訟事件の経過について  
斎場建設事業用地取得経費等に係る違法公金支出金返還請求控訴事件について、3月30日に東京高等裁判所において判決言い渡しがあり、控訴は棄却された。その後、上告の提起があり、現在最高裁判所において審理が行われている。また、斎場建設工事費等に係る違法公金支出差止・損害賠償、違法公金支出金返還請求控訴事件について、4月13日に第2回口頭弁論が行われる予定だったが、原告側が欠席したため延期となり、現在は争点の整理を行う弁論準備手続きを進めている。  
斎場建設工事等監理業務委託に係る違法公金支出・不当利得返還請求事件については、6月2日に第5回口頭弁論が行われ、次回口頭弁論は8月8日に行われる。
- 2市1町新ごみ処理施設建設候補地の一般公募結果について  
南魚沼市の長表、雲洞の2行政区及び湯沢町の谷後行政区の計3行政区から応募があった。今後、評価基準に従い候補地の選定を進める。
- テーブルマーク株式会社魚沼水の郷工場の製造ライン増設について  
これまで冷凍うどん2ラインとパックごはん1ラインを稼動していたが、パックごはん1ラインの増設が決定し今年12月の稼動が予定されており、新規の雇用の拡大が期待される。
- 浅草岳温泉源泉ポンプの復旧について  
5月11日に浅草岳温泉源泉ポンプが故障し、浅草山荘などの温泉に供給できない状況となっている。源泉に向かう道路も、4月に大白川林道ゲート入口から200メートルの付近が崩落し、通行不能となっている。現在仮設道路を計画中である。
- 新潟国際情報大学との包括的連携協定による事業について  
新潟国際情報大学と5月30日に協定を締結し、今年度は大学教授等による「中学生のための数学おもしろ講座」や、県内大学への進学率の向上を通じた若者の地元定着に向けて企画した「1dayキャンパス」を魚沼市で開催する。  
なお、上越教育大学とも教育研究活動に特化した連携協定を今月中に締結予定である。

### 〈7月1日分〉

- 熊本地震被災自治体への職員追加派遣について  
5月上旬に家屋被害認定調査業務に職員2名を派遣したが、さらに7月7日から13日まで益城町へ、7月21日から27日まで熊本市へ、いずれも家屋被害認定調査業務の第2次調査にそれぞれ2名を派遣する。
- 公金横領事件と職員の懲戒処分について  
小出病院において、市から魚沼市医療公社に派遣していた39歳男性職員が、平成27年11月から平成28年5月の間、診療費の一部負担金を6回に渡り合計約176万円を横領した。当該職員を29日付けで懲戒免職処分とした。なお、横領した現金は、利息分を加算し全額が医療公社に返還されており、本人も深く反省していることから、刑事事件としての告発は見送ることとした。市民の信頼を著しく失墜させたことに対し、心よりお詫び申し上げる。

## 第2回定例会補正予算

会 計 名	補正前の額	補正額	計	主 な 内 容
一般会計(第1号)	287億1,000万円	13億5,690万円	300億6,690万円	記録的少雪に伴う緊急雇用対策としての修繕費・工事請負費、水の郷工業団地第2期造成工事に伴う貸付金、ふるさと寄附等の増額など
工業団地造成事業特別会計(第1号)	8億800万円	9億2,500万円	17億3,300万円	水の郷工業団地第2期造成工事に係る経費

## 第2回定例会議案等

◎=全会一致、○=賛成多数で可決・承認・採択・同意、適任、×=否決・不採択・不承認

議案番号等	付 議 事 件	議決結果
予 算	議案第52号 平成28年度魚沼市一般会計補正予算(第1号)	◎
	議案第53号 平成28年度魚沼市工業団地造成事業特別会計補正予算(第1号)	◎
条 例	議案第50号 専決処分の承認を求めることについて(魚沼市税条例の一部改正について)	◎
	議案第51号 専決処分の承認を求めることについて(魚沼市国民健康保険税条例の一部改正について)	◎
	議案第54号 魚沼市文化会館条例の一部改正について	◎
	議案第55号 魚沼市議会議員及び魚沼市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	◎
	議案第56号 魚沼市自然環境保全条例の制定について	◎
	議案第57号 魚沼市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	◎
	議案第58号 魚沼市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	◎
	議案第59号 魚沼市立認定こども園条例の一部改正について	◎
	議案第60号 魚沼市有住宅条例の一部改正について	◎
	議案第61号 魚沼市産業拠点強化を促進するための市税の特例に関する条例の一部改正について	◎
	議案第71号 魚沼市体育施設条例の一部改正について	◎
そ の 他	議案第62号 財産(救助工作車Ⅱ型)の取得について	◎
	議案第63号 財産(ロータリ除雪車)の取得について	◎
	議案第64号 財産(ロータリ除雪車)の取得について	◎
	議案第65号 財産(除雪ドーザ)の取得について	◎
	議案第66号 市道路線の認定について	◎
	議案第67号 市道路線の変更について	◎
	議案第68号 市道路線の廃止について	◎
	議案第70号 魚沼市防災行政無線(移動系)デジタル化工事請負契約の締結について	◎
議案第72号 市有財産の処分について(小出南部いきいきスポーツセンター施設)	◎	
人 事	議案第69号 人権擁護委員候補者の推薦について(大石 小島克朗氏)	◎
請 願	請願第4号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書	◎
発議ほか	発議第3号 魚沼市の特性を考慮し、身の丈に合った新庁舎建設を求める決議について	○
	発議第4号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について	◎
	懲罰動議 大平栄治議員に対する懲罰動議	×

## 議案賛否の状況

賛否が分かれた上表の網かけの議案等について掲載 ○=賛成 ●=反対・態度保留・棄権等 欠=欠席 --=除斥(※議長は議案議決に加われない案件です。)

議案番号等	議決結果	合 計		新魚沼クラブ						政策クラブ かけはし		日本共産党		しんせい ク ラ ブ		創生市民の会								
		賛 成	反 対	本 田 篤	志 田 貢	遠 藤 徳 一	星 野 武 男	下 村 浩 延	森 山 英 敏	高 野 甲 子 雄	星 吉 寛	大 屋 角 政	大 平 恭 児	関 矢 孝 夫	富 永 三 千 敏	渡 辺 一 美	佐 藤 敏 雄	岩 井 富 士 夫	岡 部 計 夫	大 平 栄 治	佐 藤 肇	森 島 守 人	浅 井 守 雄	
発議第3号	原案可決	11	8	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
懲罰動議	否 決	7	11	○	○	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●	●	※	

一般質問 (通告順)

「食」の拠点(道の駅等)について問う



遠藤 徳一 議員

【答】 拠点は重要と考えており、今後検討したい

【問】 「食でつながる元気なまちづくり推進計画」を策定した。この計画を周知するためにも「食」にかかわる各種分野のネットワーキングと、食に関する研究・販売等含む情報発信基地とし「道の駅等」の拠点づくりが重要と考えるがどうか。

【答】 貢献活動やボランティア活動に自ら課題解決の主体として参画する職員に対し、モチベーション報酬等付与すべきと思う。そして職員が地域活動の活性化を促進する役割を担い総体として自治体によりよくなるなら、人事評価に反映すべきと考えるがどうか。

【問】 勤務時間外に地域

職員人事評価について

【答】 人事評価は業務目標の達成度や勤務成績の状況で行っており、勤務時間外や職務以外の私的行動は対象外である。職員には引き続き地域活動への積極的な参加を促したい。

市長選挙に出馬するか

【問】 平成28年度から新たに始まる数々の行政計画や山積する行政課題に対し、いま一度市民の信託を得て、その職責において取り組む考えか。

【答】 これまでの8年の市政運営は、将来のまちづくりの基盤づくりに努めてきた。今後は、魚沼市が将来にわたって輝き続けるよう取り組むとともに、人口減少、過疎高齢化に対応できる地域づくりが必要だ。次の4年間が大事な時期であり、魚沼市の元気のため、再度出馬を表明する。

男のサロンの創設を



星野 武男 議員

【答】 性別、年齢を超えた健康づくりができるよう検討する

【問】 1 健康寿命を延ばして健やかでいきいきと暮らすために、55歳くらいからのシニア男性を対象とし、歩いて集まれる範囲に「男のサロン」を創設してはどうか。活動は月1回程度で2〜3時間を目途に、内容は①健康マージャン②マレットゴルフ③里山ハイキング④ふるさと再発見ウォーキング⑤ボランティア活動⑥男の料理教室⑦その他たまには教養講座等を実施する「男のサロン」へ事務費等の助成をしてはどうか。

【答】 1 運動や健康イベントに対する健康ポイントの実施を検討している。性別や年齢を超えて健康づくりが行えるよう、参考としたい。

【問】 2 健康寿命の試算を行い、平成22年に男性平均寿命は「健康寿命延伸都市宣言」を行い、平成22年に男性平均寿命は99・7%で県内

【答】 不明水をできるだけ少なくするため、キャンペーンを参考に効果的な方法を検討して取り組む。

【問】 2 長野県松本市は「健康寿命延伸都市宣言」を行い、平成22年に男性平均

【問】 当市の下水道は、平成26年度汚水処理人口普及率は99・7%で県内

【答】 不明水をできるだけ少なくするため、キャンペーンを参考に効果的な方法を検討して取り組む。



# 身の丈に合った庁舎と定員適正化計画を問う



佐藤 敏雄 議員

**答** 標準的な基準を元に算定した計画である

**問** 1 2月定例会で庁舎位置条例が可決され、その後、「建設に当たって将来を見据え、身の丈に合った庁舎とする」等4項目が提案され、市長は、真摯に受け止める」と発言した。人口の急激な減少、国からの交付税減、更に税収減が見込まれる中、できるだけ経費を抑えた庁舎建設とすべきと考えるが、市長の考えを問う。

**答** 1 計画で示した面積は、決して贅沢なものではなく標準的な基準を元に算定したものである。

**答** 企業側の採用計画や求人情報を確認しながら進めていきたい。

2 これまで削減してきた結果、類似団体と比較し3人超過にとどまっている。一方で事務量は増えている。さらに業務の外注化や民営化を進めていく。

権現堂山登山道整備を

**問** 先般、権現堂山の整備について要請を受けて、現場確認に行ってきた。今、若手から中高年世代の登山ブームである。神山までの整備をして、登山と温泉のコラボは魅力ある観光資源であり、地域おこしのためにも整備とPRの必要があると思うが、市長の考えを問う。

**答** 管理と責任が明確化されていない登山道があり、今後の検討課題とする。

早急な雇用対策を

**問** 水の郷工業団地にブルボンの進出が決まり、最大400人、ウオロク

の進出で約150人と550人の雇用が見込まれる。両社と連携して、U・Iターンを含む地元からの早急な雇用対策や住居手当等必要と思うが、市長の考えを問う。

50人の雇用が見込まれる。両社と連携して、U・Iターンを含む地元からの早急な雇用対策や住居手当等必要と思うが、市長の考えを問う。

管理と責任が明確化されていない登山道があり、今後の検討課題とする。

2 新庁舎が平成32年度から一本化して稼働するが、分庁舎方式による職員の分散配置が大幅に改善される。このことを定員適正化計画に反映し、職員数を圧縮すべきと思うが、市長の考えを問う。

# 魚沼市の防災対策の現状と対策を問う



佐藤 肇 議員

**答** 2次避難所の耐震化や防災計画の見直しを進める

**問** 1 2次避難所の耐震化の状況はどうか。耐震改修の予定はどうか。施設の統廃合が進められている収容定員の想定は十分か。

**答** 1 学校施設については耐震化がほぼ完了している。社会教育体育施設についても順次進めている。収容定員は、37施設の累計で最大約15、000人となっている。

2 今後、見直しを検討していく。

2 国土交通省から魚野川の水害想定の変更が示された。魚沼市水害ハザードマップや防災計画の変更はあるのか。

3 正規職員が少なくなり災害時のマンパワー不足が懸念されている。臨時・非常勤職員の動員体制はできているのか。

3 正職員以外は休日・夜間等の非常召集の対象ではないが、通常の勤務時間中は正職員の補佐として対応に関わる。

3 正規職員が少なくなり災害時のマンパワー不足が懸念されている。臨時・非常勤職員の動員体制はできているのか。

4 具体的機能や仕様は、今後検討していく。

2 地域居住の促進や交流人口の増加という観点では有効な手段のひとつと考えられる。しかし、実際は定住人口の増加に必ずしも結びついていないとの指摘や財政面の課題もあるため、本市では田舎暮らし体験事業など今ある事業を推進していく。

3 正規職員が少なくなり災害時のマンパワー不足が懸念されている。臨時・非常勤職員の動員体制はできているのか。

4 具体的機能や仕様は、今後検討していく。

2 地域居住の促進や交流人口の増加という観点では有効な手段のひとつと考えられる。しかし、実際は定住人口の増加に必ずしも結びついていないとの指摘や財政面の課題もあるため、本市では田舎暮らし体験事業など今ある事業を推進していく。

4 新市役所庁舎に設ける災害対策本部、中央指揮所としての機能、情報収集発信機能はどのようなものかを考えているのか。

**問** 市は移住促進にさまざまな施策を講じていく。

市は移住促進にさまざまな施策を講じていく。

# 一般質問 (通告順)

# 魚沼版DMOへの取り組みを問う

一般質問 (通告順)



岡部 計夫 議員

**答** 雪国観光圏において、さらに活動を進めていく

**問** 1 観光庁が推進するDMO(デスクイネーション・マネージメント・オーガニゼーション)地域の稼ぐ力を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりを都市計画マスタープランの中の北部地域(守門・入広瀬)の地元法人と一緒に立ち上げ観光庁に登録し、新型交付金で新たな地域づくりに取り組んではどうか。

取って食べての山菜取り体験を通じて「食まちょうおぬま」の取り組みに近づけていく取り組みはどうか。

**答** 1 現在、雪国観光圏で実施しているが、今後はさらなる雪国文化の発信や地域住民と事業者への意識啓発を行い、地域連携DMOの活動を進めていく。

2 入広瀬コミュニティ協議会において実行委員会を組織し、春の山菜ツアーと秋のきのこツアーが実施されている。このような地域主導の活動に対し、市としても地域振興の一環として支援していきたい。

2 山菜共和国ツアーを30年以上続けている。先般、全国山菜サミットを当市で開催したが、山菜を食べるだけでなく、



山菜ツアー

# 斎場工事ごみ処理費は違法公金支出ではないか



大平 栄治 議員

**答** 法令等に基づき適正に執行されている

**問** 1 斎場工事の敷地から見つかったごみ処理費は一連の工事として合併特例債で支出するとしていたが、一般財源で支払った。議会と市民を

あざむいたことになるかどうか。

2 市は斎場のごみ処理費の一部を前地権者に「隠れた瑕疵」として請求しているが、前地権者は認めていない。既に1年が経過している。市は隠れた瑕疵と債権の確認のため、どのような手立てを取るのか。

3 市長が提起した債権が不納欠損となれば市長の責任である。早急に結果を出していただきたい。

1 委員会において、瑕疵担保請求を行う場合は、その部分は合併特例債の対象外となると説明した。

2・3 旧地権者に対し、今後とも働きかけを継続する。

斎場の住民監査請求を棄却とした監査結果を問う

**問** 1 斎場ごみ処理で、市側の過失について言及していない。なぜしないのか。

2 斎場が出てきたごみは産業廃棄物で県の所管とした。誰が産業廃棄物と断定したのか。

3 他人が捨てたごみ処理費に市の税金を支出し

たことを監査委員は認めている。市民がわかるよう説明していただきたい。

1 (代表監査委員答弁) 監査結果のとおりである。

2 建設現場から出たものであり、それは産業廃棄物だとの共通認識により事業を進めた。

3 (代表監査委員答弁) 投資者を特定できず、本市が土地の所有者責任において撤去処分をせざるを得ないと判断し、その処理費用を議会議決のうえ、法令等に基づき適正に執行されているものと認め、違法な公金支出に当たらないと判断した。

# 冬季スポーツ振興について問う



志田 貢 議員

### 答

スポーツ人口の拡大など裾野を広げる観点で進める

**問** 子どもたちの競技スポーツ支援はもちろんだが、市民スポーツとしての定着こそが、「高い山は裾野が広い」という議論の要と考え、次にどう問う。

点で計画を策定している。

1 市ではスポーツ推進計画を策定しているが、冬季スポーツに対して「高い山は裾野が広い」という観点で盛り込んでいくか。

1 本年2月に策定された「魚沼市公共施設等総合管理計画」の基

2 冬季スポーツ人口を増やす目的で、市内スキー場に自然の地形を利用したハーフパイプを建設してはどうか。

2 地元や関係者に対しては事前に丁寧な説明を行う。市報やホームページで早い段階から計画内容を開示するほか、説明会を通して市民の理解を求めていく。

3 「裾野を広げる」という意味でも、市内スキー場の共通リフト券はできないか。

3 評価結果を平成28年度予算へ反映していると思うが、評価シートのどこを注視すればよいのか。

4 サマースキーのアップローチとして、冬季スポーツの通年性を模索してはどうか。

4 地域拠点」を位置づけ、都市機能の集積や施設の集約化を図ることとしている。具体的には施設再編の検討を進める中で設定する。

5 クロスカントリーこそ魚沼の自然を感じる素晴らしいスポーツである。「裾野を広げる」意味で、歩くスキー（クロスカントリー）の勧めとしてイベントを開催してはどうか。

5 地元の関係者に対しては事前に丁寧な説明を行う。市報やホームページで早い段階から計画内容を開示するほか、説明会を通して市民の理解を求めていく。

6 冬季の運動不足予防を目的に冬季市民運動会を開催してはどうか。

6 市民から意見はいただいているが、評価シートの使い勝手等の意見はあったか。

7 幅広世代の市民がスポーツする、観る、支えることも含めて推進し、裾野を広げる視

7 市民から意見はいただいているが、評価シートの使い勝手等の意見はあったか。

8 幅広世代の市民がスポーツする、観る、支えることも含めて推進し、裾野を広げる視

8 市民から意見はいただいているが、評価シートの使い勝手等の意見はあったか。

# 「公共施設等総合管理計画」を問う



関矢 孝夫 議員

### 答

施設再編の検討作業を進めていく

**問** 1 本年2月に策定された「魚沼市公共施設等総合管理計画」の基

1 「都市拠点と地域拠点」を位置づけ、都市機能の集積や施設の集約化を図ることとしている。具体的には施設再編の検討を進める中で設定する。

2 地元や関係者に対しては事前に丁寧な説明を行う。市報やホームページで早い段階から計画内容を開示するほか、説明会を通して市民の理解を求めていく。

3 評価結果を平成28年度予算へ反映していると思うが、評価シートのどこを注視すればよいのか。

4 地域拠点」を位置づけ、都市機能の集積や施設の集約化を図ることとしている。具体的には施設再編の検討を進める中で設定する。

5 地元の関係者に対しては事前に丁寧な説明を行う。市報やホームページで早い段階から計画内容を開示するほか、説明会を通して市民の理解を求めていく。

6 市民から意見はいただいているが、評価シートの使い勝手等の意見はあったか。

7 市民から意見はいただいているが、評価シートの使い勝手等の意見はあったか。

8 市民から意見はいただいているが、評価シートの使い勝手等の意見はあったか。

9 市民から意見はいただいているが、評価シートの使い勝手等の意見はあったか。

10 市民から意見はいただいているが、評価シートの使い勝手等の意見はあったか。

# 一般質問 (通告順)

**答** 1 幅広い世代の市民がスポーツする、観る、支えることも含めて推進し、裾野を広げる視

2 冬季の運動不足予防を目的に冬季市民運動会を開催してはどうか。

3 「裾野を広げる」という意味でも、市内スキー場の共通リフト券はできないか。

3 評価結果を平成28年度予算へ反映していると思うが、評価シートのどこを注視すればよいのか。

4 地域拠点」を位置づけ、都市機能の集積や施設の集約化を図ることとしている。具体的には施設再編の検討を進める中で設定する。

5 地元の関係者に対しては事前に丁寧な説明を行う。市報やホームページで早い段階から計画内容を開示するほか、説明会を通して市民の理解を求めていく。

6 市民から意見はいただいているが、評価シートの使い勝手等の意見はあったか。

7 市民から意見はいただいているが、評価シートの使い勝手等の意見はあったか。

8 市民から意見はいただいているが、評価シートの使い勝手等の意見はあったか。

9 市民から意見はいただいているが、評価シートの使い勝手等の意見はあったか。

10 市民から意見はいただいているが、評価シートの使い勝手等の意見はあったか。



# 魚沼医療圏域の課題と対策は

## 一般質問 (通告順)



大屋 角政 議員

**答** 基幹病院からの医師派遣システムは機能している

**問** 新潟県は「人口10万人当たり医療施設に従事する医師数」で全国5番目に少なく深刻な医師等の不足がある。魚沼圏域はさらに深刻である。今後の課題と対策をどう考えているか。

**答** 基幹病院からの医師派遣システムは機能しており、外科、小児科などの専門外来に医師を派遣いただいている。市単独の修学資金は3名に貸与しており、他の制度で医師の配置要望も行っている。今後も対策を行っていく。

**問** アベノミクス下の地域経済をどう見ているか

昨年、新潟商工会

議所が行った「新潟市早期景気観測調査結果」では「長引く景気の低迷や投資の減少などにより、景気回復を実感していない事業所が多く慎重な見方が続いている」としている。魚沼市にあっては、アベノミクス下での地域経済はどうなっているか。

**答** 本市を含むハローワーク南魚沼管内における4月の有効求人倍率は大幅に改善した。市内事業者へのアンケート調査結果も踏まえ総合的に判断すると、全体的に一時期より改善傾向にあると認識している。

柏崎刈羽原発の再稼働中止を

**問** 福島第一原発事故から5年となる。また、この事故の総括もされていない。魚沼市も放射能を含んだ汚泥を湯之谷地区の旧下水道処理施設に保管しているが、今後の処理の用途は立っているのか。また、こうした過酷事故が起きると周辺自治体や他県まで影響を及ぼす。よって柏崎刈羽原発の再稼働は中止すべきと考えるがどうか。

**答** 再稼働の可否に当たっては、安全性を判断基準として最優先すべきである。

**答** 再稼働の可否に当たっては、安全性を判断基準として最優先すべきである。

# 若者の政策形成過程への参画を



渡辺 一美 議員

**答** うおぬま若者会議を開き、意見やアイデアを求める

**問** 若者が社会における影響力を実感できるような取り組みを積極的に進めることが重要であり、次のことを提案する。  
1 各種審議会等の委員に若者枠を設ける条例改正をしようか。  
2 若者が議論をして政策提案できる仕組み「若者会議」の設置をしようか。  
3 市民のための政策提案をしていく仕組み「若手職員知恵だし会議」の設置をしようか。

提案できる仕組みに発展させていきたい。  
3 具体的に検討する。  
非正規雇用の市職員の正規雇用について

規雇用にすることは、限られた財源を職員給与に多く使うことになるので、次のことを提案する。  
1 民間でできる事業は早期に民営化すべきではないか。  
2 非正規雇用職員は市の仕事請負専属会社で正規雇用し、市は事業や季節等に応じてその会社から労働力を提供してもらってはどうか。

**問** 非正規職員は、正職員と何ら変わらぬ仕事に従事しているながら報酬が低く抑えられ、昇進や昇給面で差別され、その立場は極端に不安定な状態である。この状態は、個々人の労働意欲をそぐばかりでなく、若者の婚姻率を下げたり、出産を控えたりと人口減少問題とも直結している。しかし、現在の地方財政制度の状況では、非正規を正  
**答** 1 保育園民営化は検討を進めている。  
2 課題が多いため考えていない。

**答** 1・2 20歳から40歳の市民などを対象とした「うおぬま若者会議」などの事業により、政策



# 国保会計は黒字だ、国保税の引き下げを



大平 恭児 議員

**答** 引き下げる状況に至っていない

**問** 平成15年度に保険者支援制度が創設された。平成27年度には1,700億円の財政支援が行われている。国保会計は黒字であり保険税引き下げは十分にできると思う。検討すべきではないか。

**答** 各避難所は適切な場所であると考えている。収容人数などは把握しているが、今後、災害の状況に応じて民間の施設の利用なども検討していく。

**問** 平成27年度決算では法定外繰り入れを行わなかった理由として、繰越金を入れた中で黒字となっていた。それを除けば大変厳しい財政であり、保険税を引き下げる状況に至っていない。

**答** 1 さまざまな客観的なデータを基に人口ビジョンを策定しているが、数値の推移だけを見て合併との因果関係は認められない。

**答** 2 人口減少に歯止めをかけるために身近な自治組織が必要だ。地域の課題を取り上げ、市にも提言できる、地方自治法に基づき「地域自治組織」を早急に立ち上げるべきではないか。

**問** 市内の避難所はその位置や数が適切な場所

**答** 1 新潟県は人口減少率が全国で3番目である。その要因は極端に進んだ市町村合併やその規模が大きく影響していると思う。人口減少と自治体合併についてどのような認識を持っているか。

**答** 2 現在、地域コミュニティ協議会が地域の課題解決のため取り組んでいるが、それらの活動が発展し成熟していく中で「地域自治組織」に変わっていくものと思っている。

熊本地震を受けての災害対応について

**問** 子どもの「自立の心」を育てることが目的の「子どもが作る弁当の日」の実践校は、全国で1,700校余りになった。「子どもだけで作る」「親は手伝わない」ことで、子どもの「自立の心」「家族との絆」づくりに大きな成果を上げているといわれている。「子どもが作る弁当の日」を魚沼市の5、6年生の家庭科の中で実践してはどうか。

**答** 市では栄養教諭等がキッズ健康教室と称して各小学校を訪問し、食育に関する授業や弁当作りの実習を行っている。

# 「子どもが作る弁当の日」の提唱



高野甲子雄 議員

**答** 食育に関する授業や弁当作りの実習を行っている

**問** 介護士、看護師の人材確保について

**問** 高齢化が進む魚沼市にあって、介護士、看護師の人材確保は喫緊の課題であるが難しい現実がある。確保が困難な要因はどこにあると考えているか。確保策は検討されているか。

**答** 介護職員は業務内容に対する賃金の低さが課題となっている。市では研修などを通じて介護人材のキャリアパス形成を支援し、職場への定着を図っている。看護師については、地域に医療人材が不足している。市の修学資金制度見直しのほ

**問** 高年齢が進む魚沼市にあって、介護士、看護師の確保は喫緊の課題であるが難しい現実がある。確保が困難な要因はどこにあると考えているか。確保策は検討されているか。

**答** 介護職員は業務内容に対する賃金の低さが課題となっている。市では研修などを通じて介護人材のキャリアパス形成を支援し、職場への定着を図っている。看護師については、地域に医療人材が不足している。市の修学資金制度見直しのほ

**問** 魚沼産コシヒカリは全国ブランドである。「誘客宣伝塔」として、「市内の水とコシヒカリ」を使った、こだわりの「塩おにぎりだけ」の専門店を山手線駅構内に開設してはどうか。

**答** 市直営でなく、民間力に対し支援ができるよう、食まちうおぬま推進事業において検討したい。

# 一般質問 (通告順)

一般質問 (通告順)

私の考える地域活性化策を問う



星 吉寛 議員

市民の取り組みに対し支援を検討する

地域の活性化(人口減少対策)は地域資源を活用し、働く場をつくり地域で生活できる収入の確保が不可欠だ。そのための具体策について問う。

いずれも、地域の方々、やってみようとする市民自らの取り組みを支援する方向で検討する。多額の財政負担を伴うと聞いています。一方で経済効果も期待できるので、今後調査していく。

1 山の木を切り開き「ゼンマイ畑」(30カ所×350万円)をつくることを提案する。切った木で木炭や薪を生産してはどうか。観光客誘致のためゼンマイ採りができる山菜農園等も提言するかどうか。  
2 山ウドの栽培と冬季の働く場として、山ウドなどの加工事業を提言するかどうか。  
3 耕作放棄地等でエゴマ栽培を提言するかどうか。

平成25年12月議会でお小出インターチェンジを魚沼インターチェンジに変更することで3億5千万円以上の経済効果が見込まれるので、早急に改名すべきとの一般質問に対し、費用対効果を含め協議・検討すると答弁した。これまでの取り組み状況と今後の対応を問う。



名称変更に伴う看板類の変更、ポスター・

清津川から水量は確保できているか



本田 篤 議員

現在は水量確保されていると考えている

昨年1月より発電停止となった湯沢発電所は、余水路を活用して魚野川への送水が再開された。当市でも魚野川左岸取水などの関係もあり決して無視できない。周辺自治体との調整は十分できているか。

固定価格買取制度(固定価格買取制度)は当市の事業展開の中では足かせになる可能性があるが、しかしFIT法が改正される見込みとなり、絶対の再契機とみるかどうか。

今回の法改正により、再生可能エネルギーの接続環境は改善される可能性がある。本市では木質バイオマス発電の導入の検討を進めているが、なお発電方式や接続環境に課題があるため、具体的な事業実施の用途は未定である。

個人旅行者について  
1 中国からの個人旅行者が増えてきている。そのポイントは、目的地が日本、ピークシーズンは10月、治安が良く、公害がない、自然とショッピングを楽しめることを求めているとのこと。まさしく魚沼こそ当てはまる。インバウンド事業は個人旅行者に向けてターゲットを絞ってみてはどうか。

本市ではまだまだ来訪者数が少なく、まずは受け入れ体制の整備と情報発信に取り組み、宿泊客の増加を図りたい。また、外国人誘客モーターツアーを実施するので、事業の成果をみながら次の戦略に生かしたい。

## 平成28年 第1回議会報告会を開催しました

魚沼市議会では、議会基本条例第7条の規定に基づき5月9日～11日の3日間、6会場で議会報告会を開催しました。

皆様からいただいた貴重な意見を政策提言の糧とし、今後の市政運営に反映していくよう取り組みたいと考えます。

### 市政に対し皆様と意見交換しました(主な意見)

#### 総務委員会で調査していきます

**問**：職員が現地調査もせず、突然指定管理にしてしまうのはどうか。

**答**：数的に多くの指定管理施設があるので、議員がすべて把握は難しい。市民の使い勝手の良い指定管理にしていく。

#### 福祉文教委員会で調査していきます

**問**：広神・守門・入広瀬中学校の学区再編はどうなっているのか。

**答**：教育委員会としては、地域の自主性にまかせるだけなのか、また、教育委員会として一定の方向を出すのかを含めて検討している。

**問**：生徒数が年々減ってきている中、議員は将来を展望して、学区再編は慎重に審議してほしいがどうか。

**答**：生徒数が減る中での学区再編は、ただ校舎が古くなったから建て直すのではなく、地域の核、または、魚沼市全体の中で、考えていかなければならないと思っている。

#### 産業建設委員会で調査していきます

**問**：水の郷工業団地の第1期分は完売で、第2期分の造成を考えているようだがどうか。

**答**：市としては、まだ検討している企業もあることから、2期分も造成したいという報告は受けている。それらを踏まえ、今後調査をしていく。

**問**：木質バイオマスについて、どんな考え方なのか。

**答**：当初は5千kWの発電計画だったが、集材が難しいので、現在は2千kWの発電の計画を検討している。

#### 議会運営委員会で調査していきます

**問**：エフエム魚沼で議会本会議、特に委員会をライブで流していただきたい。

**答**：今も本会議、一般質問はインターネットで配信しているが、今後の検討課題としたい。

#### 地域医療対策特別委員会で調査していきます

**問**：小出病院の1フロアが未使用なのは看護師不足のためか。

**答**：療養病床44床が看護師不足により未開業となっている。堀之内病院の療養病床を老健施設にして、小出病院に療養病床を開設する予定である。

#### 庁舎再編整備特別委員会で調査していきます

**問**：新庁舎建設が決定するまで長い年月がかかっているが、同時にまちづくりや現庁舎の活用についても並行して議論すべきだったのではないか。

**答**：まちづくりの関係は、各委員会に共通する課題だ。現庁舎の利活用については、平成28年度に方向性を出すことになっている。

**問**：庁舎の条例可決に付帯決議がついているが、これはどのように担保されているのか。実際に実行されるのか。

**答**：付帯決議というものは、拘束力がないが、議会が決議したことなので、当局が真摯に受け止めていくことが付帯決議の意義である。

**調査の経過は、議会だよりで随時報告していきます。**



# 総務委員会報告

4月26日

2 その他

1 現地調査及び総括 防災行政無線（移動系）

市内の災害危険箇所（3カ所）を視察し、総括を行った。

問 地区の1次避難場所が土砂災害の及ぶゾーンとして指定されているが、改善策はどうか。

答 安全な場所への移動は、地域との情報交換を含め考慮が必要である。

問 土砂災害ハザードマップの配布で、不安感による人口流出など集落維持低下にならないか。

答 まずは周知による避難優先が大事と考える。

問 消防団の土砂災害に関する自治会との対応指導、訓練等はどうなっているか。

答 具体的な対策はなされていらないが今後考えていきたい。

問 今年度で解任となる。新たな指定管理者が採用

答 今年度で解任となる。新たな指定管理者が採用

問 現任期付き館長は指定管理開始の時点でどうなるか。

答 今年度で解任となる。新たな指定管理者が採用

問 財政面が大きな要因。その他、市民の意識改革や理解、分別の負担増も含め断念した。

答 財政面が大きな要因。その他、市民の意識改革や理解、分別の負担増も含め断念した。

問 警察や検察の独自の捜査、市等の告発等で検

査官の起訴を経て、裁判官が刑事裁判で量刑を定める形となる。

議案第54号、56号、第62号 ※原案可決すべきものと決定。

2 議会報告会の総括及

ことに要望の取り扱いについて

市民から課題提起されていた指定管理制度について協議した結果、委員会としては喫緊の課題である小出郷文化会館の指定管理について調査することとした。

3 その他

「洪水浸水想定区域の見直し」「魚沼市地域公共交通網形成計画」「ふるさと寄附金状況」「し尿処理受入施設工事入札結果」について報告を受けた。引き続き調査することとした。

議案第54号

魚沼市文化会館条例の一部改正について

指定管理期間はどうか。

答 通常5年だが、芸術文化については継続も大切で第2次総合計画終期に合わせたい。

議案第56号

魚沼市自然環境保全条例の制定について

第19条に罰則規定がある。適用する手順はどうか。

すれば、館長でなく会館の最高責任者となる。

問 市民が主体となった市内NPO団体との間で一定の方向性が得られたとのことだが、どこか。

答 NPO法人魚沼交流ネットワークである。市内において市民主体で定款上文化事業ができるのはその法人のみとなる。

2 新ごみ処理施設建設候補地の一般公募結果及び生ごみの資源化について

問 公募結果として市外3カ所となった。距離からすると中間的施設が必要ではないか。

答 検討が必要である。

問 新ごみ処理施設での生ごみ資源化断念の説明があつたが、断念した理由は。

答 財政面が大きな要因。その他、市民の意識改革や理解、分別の負担増も含め断念した。

3 その他

「洪水浸水想定区域の見直し」「魚沼市地域公共交通網形成計画」「ふるさと寄附金状況」「し尿処理受入施設工事入札結果」について報告を受けた。引き続き調査することとした。

議案第54号

魚沼市文化会館条例の一部改正について

指定管理期間はどうか。

答 通常5年だが、芸術文化については継続も大切で第2次総合計画終期に合わせたい。

議案第56号

魚沼市自然環境保全条例の制定について

第19条に罰則規定がある。適用する手順はどうか。

答 警察や検察の独自の捜査、市等の告発等で検

査官の起訴を経て、裁判官が刑事裁判で量刑を定める形となる。

議案第54号、56号、第62号 ※原案可決すべきものと決定。

2 議会報告会の総括及

ことに要望の取り扱いについて

市民から課題提起されていた指定管理制度について協議した結果、委員会としては喫緊の課題である小出郷文化会館の指定管理について調査することとした。

3 その他

「洪水浸水想定区域の見直し」「魚沼市地域公共交通網形成計画」「ふるさと寄附金状況」「し尿処理受入施設工事入札結果」について報告を受けた。引き続き調査することとした。

議案第54号

魚沼市文化会館条例の一部改正について

指定管理期間はどうか。

答 通常5年だが、芸術文化については継続も大切で第2次総合計画終期に合わせたい。

議案第56号

# 福祉文教委員会報告

4月15日

1 「特別障害者手当誤認定と過誤払いのその後経過」について

平成22年2月、県の事務監査が行われ特別障害者手当資格認定事務において誤認定を指摘され、誤認定者42名に対して認定の取り消しと手当の過誤払金返納処分を決定。42件のうち5件が審査請求を提出し、県は請求期間を経過している1件を棄却。1件が審査請求を取り下げた。

その後、本年3月28日

に県から通知があり、県は3件の審査請求を認め、市の認定取消処分及び手当返納処分の取り消しを裁決した。

問 今回の3件以外の方たちの処分は取り消さず、そのままなのか。

答 そうなる。

問 42名の状況は異なるが、今回の行政処分不服審査請求3件と同条件の方か7名いる。訴訟できるかできないかは弁護士と相談しなければ何とも

いえないが、行政訴訟法

上、裁決の日から1年な

る。

る。

る。

る。

る。

る。

る。

る。

る。

る。

る。

いし、裁決を知った時から6カ月を経過すると訴訟提起ができなくなる。訴訟の権利を奪わないために、誤認定者42名への情報提供はどうするのか。

**答** 定例記者会見で発表するが、42名への個別の報告は考えていない。

6月21日

1 付託案件の審査

請願第4号、議案第57号  
く59号

※採択・原案可決すべきものと決定。

2 中学校の学区再編について

**問** 6月24日に今年度第1回目の検討委員会を開くが、いつまでには結論を出したいという方針はあるのか。

**答** スケジュールも含めて1回目で検討していた

3 子育て世代包括支援センターについて

**問** 国では平成32年度までには全国展開するとの方針だが、市として限られた年数の中での検討をこれからしなければなら

**答** 子育て関係だけを考えて議論するということではなく、広い意味で地域のことを考えて議論する必要があると考える。

**問** 食でつながる元気なまちづくり推進事業について

今年度の推進体制と、

産業建設委員会報告

5月13日

1 木質バイオマス発電について

**問** 木質バイオマスを県内で計画しているところはあるか。

**答** 関川村、東港、三条市の3カ所である。

**問** 東港の発電は何キロワットか。

**答** 5千キロワットと聞いている。

2 都市計画マスタープラン見直し(素案)について

**問** 魚沼市版コンパクトなまちづくりとは。

**答** その地区の特性を生かしたまちづくりを形成する中で、今以上に利便

性を高めるまちづくりを形成する。

**問** 住民意向調査や将来望まれるイメージ等が計画の中に反映されているか。

**答** 具体的には今後住民と協議する。



10月7日、8日に行われるイベントについて説明を受けた。

平成52年度に向け、目標値が設定されているが、誘導地域への人口誘導はしないという説明はどういうことか。

**答** 強制的に人口を集積するのではなく、ゆるやかに長い年月をかけて集積していく。

**問** 堀之内駅南に改札口をつくってはどうか。

**答** 地域住民や利用者と一緒に考える。

**問** ウオロクの進出や湯之谷小学校の建設による七日市新田の人口増を踏まえた計画か。

**答** そこまで考慮していない。

4 その他

**問** 地下水の保全に関する条例制定後の状況はどうか。

**答** 設置許可申請49件、既存井戸4,941件、湯之谷地域許可774件、合計5,764件である。既存井戸の届け出は引き

**問** 格納庫の計画はあるか。

**答** 県から譲渡を受けた施設については10年は用途変更ができないため、

続き受け付けている。

**問** 住宅リフォーム支援事業補助金の状況はどうか。

**答** 5月12日現在で申請326件、交付額3,857万2千円となっている。

**問** 補正予算で申請全てに対応してほしいがどうか。

**答** 検討する。

6月22日

1 付託案件の審査

議案第63号

財産(ロータリ除雪車)の取得について

議案第64号

財産(ロータリ除雪車)の取得について

議案第65号

財産(除雪ドーザ)の取得について

**問** 実勢価格で予定価格を組んでどうか。

**答** 他市も含めて調査したい。

**問** 格納庫の計画はあるか。

**答** 県から譲渡を受けた施設については10年は用途変更ができないため、

修理で対応していき、その後は新築も含め検討する。

議案第60号、61号、第63号、68号

※原案のとおり可決すべきものと決定。

# 地域医療対策 特別委員会報告

6月24日

1 医療再編等の経過について

2 議会報告会の総括及び要望の取り扱いについて  
インバウンド事業や木質バイオマス発電ほか、まち・ひと・しごと創生事業の中で所管に関連する部分について、引き続き調査していくこととした。

問 基幹病院では看護師不足で予定していた1病棟が開けなかったが、その後、看護師の人員確保はできたか。

答 確保できている。新人研修終了後、平成28年度中に開設する予定だ。

3 その他

問 住宅リフォーム支援事業で他市において不正受給があったが、当市のチェックはどうか。

答 業者の見積もりを事前にチェックするとともに、申請者にも申請内容を聴取している。

問 少雪で水不足のため作付けができないとの情報はどうか。

答 報告は受けていない。

問 6月24日 医療再編等の経過について

答 療養病床は住まいではないので、福祉の方で手立てしなければならぬ。療養病床の設置要件が平成29年度から変更される見込みであり、厚生労働省の動きを注視している。

問 基幹病院は平成27年度決算で12億円余りの赤字と聞く。魚沼市も出資しているが、市も負債に對する負担があるのか。

答 県で対応している。平成30年度以降は黒字化の計画である。市の負担はないと考えている。

3 その他

問 介護のベッドが不足

答 当初見込んでいた市の繰入金金を約2千万円減

額のうち、約90万円の赤字となる見込みだ。

2 議会報告会の要望等の取り扱いについて

指定管理施設の調査と医師・看護師等の人員確保についての意見があった。いずれも委員会で調査を継続することとした。



3名、看護学生10名に貸与している。看護師として2名が小出病院に配属となっている。

●旧県立小出病院の解体工事は順調に進んでいる。6月27日に開催する予定管理棟解体がほぼ終了し、その部分の外構工事に早々

# 庁舎再編整備 特別委員会報告

5月2日

●医師等修学資金貸付状況は、これまでに医学生

1 庁舎の建設設計に関する公募型プロポーザルの審査結果について

設計業務において豊かな創造力・高い技術力・豊かな経験を有する業者を選定するための「公募型プロポーザル」に16者が参加、1次審査で5者が選定された。3月27日に公開プレゼンテーションによる2次審査で「石本建築事務所・千葉学建築計画事務所設計共同体」

2 今後の(新庁舎建設)スケジュールについて

執行部より、今年度が基本設計になるが、この期間に設計者との十分な協議や市民ワークショップ等を開催し、市民の意見聴取を行い、基本設計に生かしていくことにな

が選ばれたとの報告を受けた。(設計者の紹介等は「市報うおぬま」5月10日号に掲載)





る。来年度は実施設計、開発許可申請や建築確認申請、来年度末には施工業者の選定を行い、建設工事は平成30年度、平成31年度の2カ年になるとの説明を受け、質疑を行った。

6月30日

1 付帯決議「身の丈論」について

2月定例会で可決された、平成27年議案第94号「魚沼市役所の位置を定める条例の制定について」に対する付帯決議中の「将来を見据えた身の丈にあった庁舎の規模とすること」の「身の丈」

**問** 市民ワークショップの委員は公募するのか。

**答** 地域等も含めて各団体から人選していきたい。

**問** 国道17号に出る道路の上に小さな橋がかかっているが、高さの問題はないのか。

**答** 優先的に庁舎予定地の道路設計を行い、その後、随時改良を進める。

**問** 国道17号に出る道路の上に小さな橋がかかっているが、高さの問題はないのか。

**答** 優先的に庁舎予定地の道路設計を行い、その後、随時改良を進める。

**問** 国道17号に出る道路の上に小さな橋がかかっているが、高さの問題はないのか。

**答** 優先的に庁舎予定地の道路設計を行い、その後、随時改良を進める。

**問** 国道17号に出る道路の上に小さな橋がかかっているが、高さの問題はないのか。

**答** 優先的に庁舎予定地の道路設計を行い、その後、随時改良を進める。

**問** 国道17号に出る道路の上に小さな橋がかかっているが、高さの問題はないのか。

**答** 優先的に庁舎予定地の道路設計を行い、その後、随時改良を進める。

**問** 国道17号に出る道路の上に小さな橋がかかっているが、高さの問題はないのか。

**答** 優先的に庁舎予定地の道路設計を行い、その後、随時改良を進める。

**問** 国道17号に出る道路の上に小さな橋がかかっているが、高さの問題はないのか。

**答** 優先的に庁舎予定地の道路設計を行い、その後、随時改良を進める。

**問** 国道17号に出る道路の上に小さな橋がかかっているが、高さの問題はないのか。

**答** 優先的に庁舎予定地の道路設計を行い、その後、随時改良を進める。

2 議会報告会の総括及び要望事項の取り扱いについて  
身の丈に合った庁舎や旧庁舎の活用などの意見は、当委員会の重要な所管事項として引き続き調査をしていくこととした。

## 議会の活動をお知らせします

### 5月2日 議員研修



魚沼市政策参与・新潟県建築士会常務理事の渡辺斉氏を講師に、「魚沼市100年の大計～まちづくりの拠点としての新市庁舎の創造」と題した講演会を開きました。

新庁舎に期待される役割や、長岡市のアオーレ長岡について市民活用の事例などを紹介していただきました。

### 6月6日 市内現地視察

次の事業の進捗状況について、全議員で視察しました。

- 小出病院解体工事 ●水の郷工業団地 ●湯之谷小学校建設工事
- 魚沼市斎場 ●すもんこども園建設工事



小出病院解体工事



魚沼市斎場



すもんこども園建設工事



湯之谷小学校建設工事

# 市民の声

## 地域の一人として



吉田 佐藤正志さん

昨今、地域内の住人同士の交流が希薄になり、昔のような隣近所の連携による防犯活動や美化活動などの実践が、難しくなってきたという状況下とともに、昨年実施された国勢調査の結果によると5年前の前回調査と比べ、魚沼市の人口減少率が7・4%も低下し、少子高齢化が急速に進み、この地域が抱える深刻な問題が浮き彫りとなった。

この人口減少の中、地域内でも様々な取り組みがなされ、参画されている方の中には、諸活動の担い手不足や多様化している課題にどう付き合っていくか、模索し

苦慮されている方も少なくないと思います。地域づくり及び地域活性化の展望を見出すには、ただ行政に依存するのではなく、また、多くの住民が汗を流すことだけでもなく、私たち住民と行政との協働活動の展開こそが必要不可欠となってくるものと考えています。

今、地域で必要としていること、やらなくてはならないことを無理のない範囲で関わり続け、先輩からいただいた協働意識を伝播していきたいです。

休憩中、委員長さんに「なぜ委員長権限で、そんなりと本題に入れないのですか。議員多数からの要請で、委員長さんが了解されたうえでの委員会開催ですよ」と直接お尋ねしましたが「ちよつと用がありますから…」と私の質問も肩すかしを食らってしまった。

庁舎再編整備  
特別委員会を傍聴して

その後、やっと本題に入り意見・質疑・委員間討議となり、最後まで傍聴させてもらったが、何か釈然としないものを感じた。

四日町 佐藤利男さん

6月30日、特別委員会が「新庁舎の身の丈」論が主な議題で開催される(事前に議会事務局に確

認し)とのことだったので傍聴させてもらった。

委員会では、本題に入る入口論で堂々巡り、50分も時間を取っていることに啞然としてしまった。

本会議の映像配信を  
しています

本会議の映像をインターネットで配信しています。魚沼市議会ホームページにアクセスいただき、ぜひご覧ください。

また、会議録も議会事務局、図書館(室)、ホームページで閲覧できます。

「市民の声」の  
原稿を募集します

●字数350字程度  
●タイトル  
●住所・氏名  
(匿名での掲載はできません。)

●顔写真を同封のうえ、お寄せください。  
(顔写真の掲載を希望されない場合は不要です。)

●送り先  
魚沼市議会事務局  
(魚沼市今泉  
1488番地1)

市議会会議場は広神庁舎3階にあります。傍聴の手続きは、受付用紙に氏名等を記入するだけです。お気軽にお問い合わせください。

学校・各種団体の場合は事前にご連絡ください。

定例会は年4回(2月、6月、9月、12月)開かれます。

このほかに、必要に応じて臨時会が開かれます。

日程は、市報お知らせ版、ホームページでお知らせしています。

選挙権が18歳に引き下げられた今回の参議院選挙において、公示された翌日の期日前投票には、大阪府の高校生が10代では全国で最も早く投票したことが報道され、世の中の関心が高いことを示すものでした。

魚沼市には、19歳以下では772名の方が投票権を有しています。

10月には新潟県知事選挙、そして12月には私達の魚沼市長選挙が執行されます。老若男女から「我がふるさとに想いを込め」大事な一票を投じていただきたいと思います。

真夏の太陽のごとく、熱く活気のある魚沼市に成長するためにも、若人の熱意を期待するものがあります。

(志田 貢)

浅井守雄

魚沼市今泉1488番地1

## 議会を傍聴してみませんか



発行/魚沼市議会  
住所/〒946-8555 新潟県  
発行責任者/浅井守雄  
魚沼市今泉1488番地1  
TEL 025-7999-4602  
FAX 025-7999-2250  
Eメール gkatzimu@city.uonuma.nigata.jp

魚沼市議会ホームページは 魚沼市議会 検索 でご覧になれます。